

高等学校 令和6 年度（3学年用） 教科 国語 科目 古典演習Ⅱ

教科：国語 科目：古典演習Ⅱ 単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年 選択者

教科担当者：森本

使用教科書：（『プログレス古典（標準編）』（いづな書店））

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】文章を読むために必要な単語・文法の知識を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】

【学びに向かう力、人間性等】国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。

科目 古典演習Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
文章を正確に読み取るために、語句や表現方法に関する知識を学ぶ。	古典文学に関する知識をもとに作品の内容を的確に理解する。	わが国の言語文化に関する理解を深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			話 聞	書	読					
1 学 期	・活用について学ぶ。 ・用言について学ぶ。	・活用について学ぶ。 ・動詞について学ぶ。 ・形容詞について学ぶ。 ・形容動詞について学ぶ。	○	○		【知識・技能】 古文を読むために必要な単語・文法の知識を修得している。 【学びに向かう力、人間性】 自ら進んで古文に親しもうとしている。	○		○	7
	定期考査						○	○		1
	・助動詞について学ぶ。	・助動詞「る・らる・す・さす・しむ・ず・き・けり」について学ぶ。 ・読解問題に取り組む。	○	○	○	【知識・技能】 古文を読むために必要な単語・文法の知識を修得している。 【思考力・判断力・表現力】 文章の内容を理解している。 【学びに向かう力、人間性】 自ら進んで古文に親しもうとしている。	○	○	○	9
	定期考査						○	○		1
2 学 期	・助動詞について学ぶ。	・助動詞「つ・ぬ・たり・り・む・むず・らむ・けむ・べし・まし・じ・まじ・らし・めり・なり」について学ぶ。 ・読解問題に取り組む。	○	○	○	【知識・技能】 古文を読むために必要な単語・文法の知識を修得している。 【思考力・判断力・表現力】 文章の内容を理解している。 【学びに向かう力、人間性】 自ら進んで古文に親しもうとしている。	○	○	○	13
	定期考査						○	○		1
	・助動詞について学ぶ。 ・助詞について学ぶ。	・助動詞「なり・たり・まほし・たし・ごとし」について学ぶ。 ・助詞（格助詞・接続助詞）について学ぶ。	○	○	○	【知識・技能】 古文を読むために必要な単語・文法の知識を修得している。 【思考力・判断力・表現力】 文章の内容を理解している。 【学びに向かう力、人間性】 自ら進んで古文に親しもうとしている。	○	○	○	7
	定期考査						○	○		1

3 学期	・助詞について学ぶ。 ・入試問題演習	・助詞（係助詞・係り結び・終助詞・間投助詞）について学ぶ。 ・入試問題を解き、実践力を身に着ける。	○	○	○	【知識・技能】 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 【思考力・判断力・表現力】 ・文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に描かれた古人の旅について作品を読み味わうことをとおして、当時のならわしについて知り、旅について書かれた日記の意義について考えようとしている。	○	○	○	6
	合計									
46										